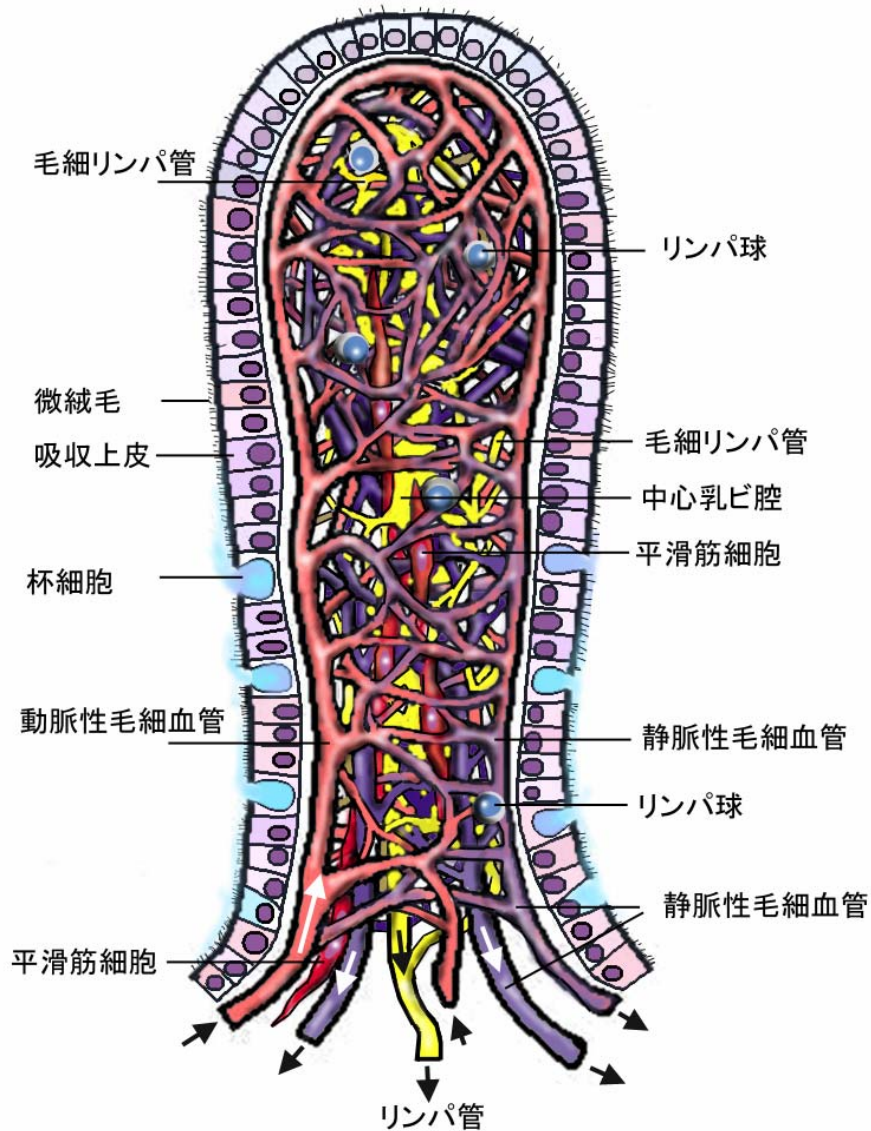


絨毛突起の構造



小腸の上皮は単層円柱上皮からなり、2つの細胞が見られます。1つは栄養を吸収する吸収上皮と、もう1つは粘液を分泌する杯細胞です。吸収上皮は微絨毛という栄養吸収装置を持つ細胞です。この微絨毛表面には種々な消化酵素があり、最終的に栄養素を分解消化し、細胞内に吸収します。これが微絨毛のはたらきです。ブドウ糖やアミノ酸は細胞基底膜外にある絨毛突起固有層内の毛細血管に入ります。

脂肪は脂肪酸とモノグリセリドとして細胞に吸収された後で、再度脂肪に合成されます。これがカイロミクロンとなって固有層内の中心乳ビ腔と呼ばれるリンパ管に吸収されます。脂溶性ビタミンのA、D、E、Kもリンパ管に吸収されます。